

有限会社森山環境科学研究所

2023年7月1日

1.経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について

①デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について

新型コロナウイルスの影響により、物理的な接触を前提としたビジネスモデルに確変が起きており、デジタル技術等の活用が社会全体に広がっています。

当社が事業を展開する衛生管理業の役割も拡大しているため、社会や企業のデジタル技術等の活用の方向性を見極めた上で、柔軟な事業展開が求められています。

②経営ビジョンやビジネスモデル

上記の社会動向を踏まえ、当社の経営においても、積極的にデジタル技術等の活用を図り、新たなビジネスモデルを構築する必要があります。当社が提供している食品衛生管理/水質検査/害虫・害獣防除/建物衛生管理では、提供するサービスの品質を向上させ、競合優位性を高めることで、新たなビジネスモデルの構築を目指します。新たなビジネスモデルを通じて事業の拡大に繋げ、社会のデジタル化の動向やニーズに合わせた事業展開を実現します。

2.経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略

新たなビジネスモデルの構築のため、提供サービスの付加価値や生産性を向上させるための社内DX化推進システムの開発・導入を目指します。開発にあたっては、当社内の既存の業務フローの課題を解決することで、取引先の事業拡大や生産性向上に繋がる機能を実現します。

3.戦略を推進するための実施体制

上記の戦略を効率的に進めるため、代表取締役の指揮のもと、DX化支援サービス事業部及び外部のシステム会社と協業の上、システムの開発を進めます。